

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		市道整備改良事業		担当課
総合計画	政策	くらしの基盤		計画期間
	施策	利便性の高い都市基盤の整備		種別
	基本事業（取組）	未改良道路の整備		市民協働
予算科目コード		01-080202-01 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 幅員が4m未満の市道の拡幅、及び道路排水の改善を図るために用地買収、補償、設計、工事を計画的に実施する。
道路の拡幅改良整備を求める意見や要望に対応するため。（道路排水施設を含む） 幅員が4m未満の未整備な市道について、緊急車輛の円滑な通行と住環境の向上を図る必要があったため。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
生活に密着した道路を拡幅整備することにより、緊急車輛を円滑に通過させるとともに、交通の利便性及び居住環境の向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
歩行者・自転車・自動車が快適に通行できるよう、生活道路の整備を進める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
生活道路の拡幅要望が多くあるが、予算は限られているため、整備効果等を検討し、優先順位を定めた上で計画的に整備していく必要がある。	4～6月 要望書の整理 7～9月 着手可能路線の調査 10～1月 整備計画作成
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
現在の拡幅要望を基に、財政計画を見据えた整備計画を立てる。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	約80箇所の拡幅要望に対応するため、財政状況を鑑みながら整備を促進する。

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の実績（評価、課題への対応）
限られた予算で、要望箇所の市道整備を計画的に進めた。	要望箇所のうち、優先順位の高い路線の整備を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
道路改良率（道路台帳総括表）（％）	69.64	69.45	69.75	69.64	69.79	69.86	70.24
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	令和4年度は、狭あい道路の拡幅や道路排水施設整備等の道路改良工事を984m実施したため、成果が向上した。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
■ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	引き続き、市道3094号線、市道3195号線外を整備するとともに、約80箇所の整備要望に基づき、財政状況を鑑みながら優先順位を定め、計画的に順次整備する。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	429,323	233,911	353,228	527,851	638,978
	国・県支出金	90,441	78,977	124,408	43,858	72,207
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	206,720	71,302	152,339	333,821	0
	一般財源	132,162	83,632	76,481	150,172	566,771
正職員人工数（時間数）		3,018.00	1,840.00	4,271.00	0.00	0.00
正職員人件費		12,217	7,119	16,469	0	0
トータルコスト		441,540	241,030	369,697	527,851	638,978